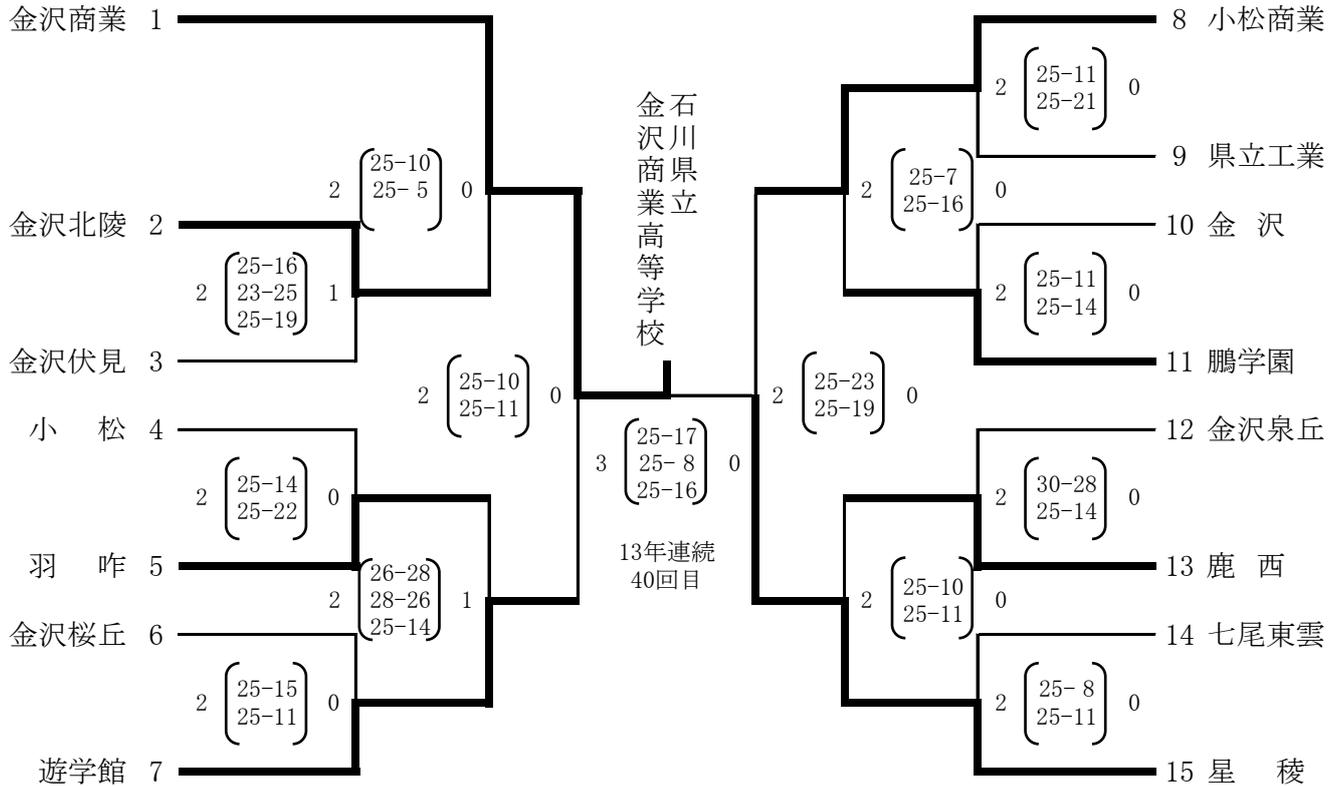


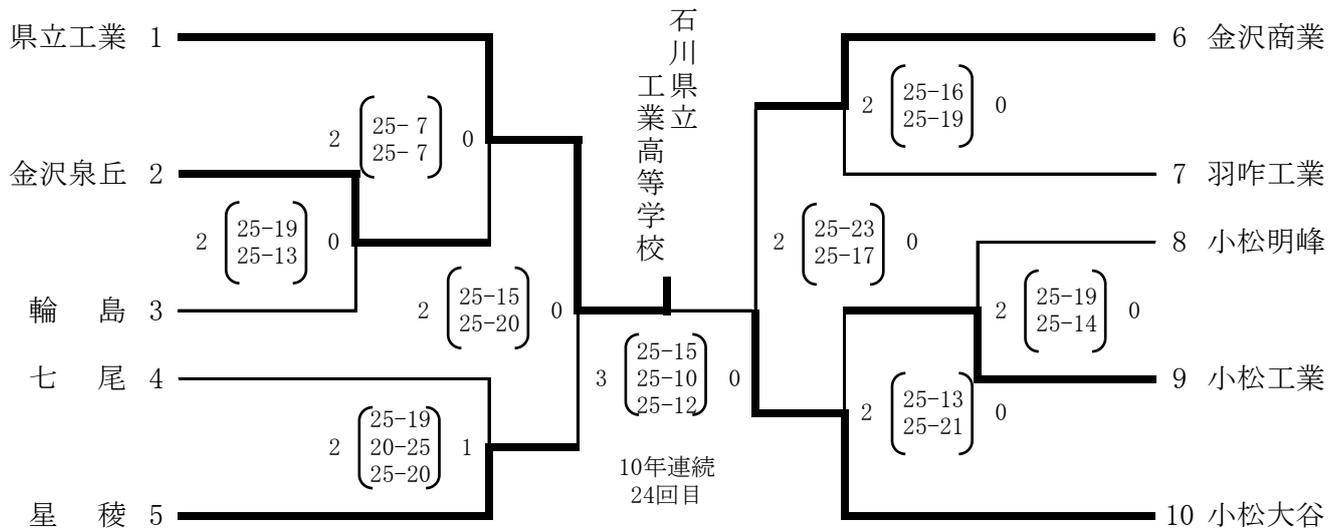
春の高校バレー
第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会 石川県大会

平成26年9月6日(土), 7日(日), 10月25日(土)

《女子》



《男子》



- ・白山郷公園体育館 Aコート(奥側), Bコート(入口側)。
- ・6日(土), 7日(日) 開門8:00, 第1試合開始 9:30 1時間設定
ただし, ネット張り替えのため6日Bコート第3試合は12:00を設定時間とする。
- ・下線は第1試合補助役員。
- ・決定戦は10月25日(土)いしかわ総合スポーツセンターにて実施。

戦 評 用 紙

- ・大会名 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会 石川県代表決定戦 男子
- ・会場 いしかわ総合スポーツセンター
- ・開催期日 平成26年10月25日(土)

男子決勝結果	
県立工業	3
(25-15 25-10 25-12 — —)	
0	小松大谷

＝審判員＝

- ・1st 荒井 勇二
- ・2nd 紙井 ひとみ
- ・SC 井上 翔吾
- ・AS 長谷川 徹
- ・補助員
金沢商業高校
バレーボール部員

戦 評

・記録者 石田 和重

3年連続の同カードとなった試合は、第1セット序盤両チーム共に硬さが見られ、ミスが目立った。

しかし県立工業小林のサーブとレシーブから流れをつかみ、中盤抜け出した。終盤小松大谷は4番信濃のサーブエースから連続得点を奪うがそのまま県立工業が25-15で押し切った。

第2セットは小松大谷2番の山崎の縦のBクイックからスタートした。お互いに硬さもとれ、ラリーが出るようになったが、県立工業波佐間のサーブが走り序盤6連続得点を奪った。小松大谷は流れを変える為メンバーチェンジを試みるが県立工業の勢いは止まらず25-10で全国大会に王手を掛ける。

第3セット、後がない小松大谷は1年生の田村に替え、2年生の遊佐を投入した。勢いそのままに得点を重ねる県立工業に対し、小松大谷は遊佐の意地のスパイクで食い下がるも、要所で高さに勝る県立工業のブロックとセンター前田のブロード攻撃が効果的に決まりだした。終盤、小松大谷は3連続シャットアウトを見せるも最後は県立工業主将の小林のスパイクがコートに突き刺さり、ストレートで勝利を収めた。県立工業は10年連続24回目の全国大会出場となる。

戦 評 用 紙

- ・大会名 第67回全日本バレーボール高等学校選手権大会 石川県代表決定戦 女子
- ・会場 いしかわ総合スポーツセンター
- ・開催期日 平成26年10月25日(土)

女子決勝結果

<u>金沢商業</u>	3	$\left(\begin{array}{l} 25-17 \\ 25-8 \\ 25-16 \\ - \\ - \end{array} \right)$	0	<u>星稜</u>
-------------	---	--	---	-----------

＝審判員＝

- ・1st 江上 雅宏
- ・2nd 波佐間 英之
- ・SC 国澤 雄介
- ・AS 石田 慎
- ・補助員
県立工業高校
バレーボール部員

戦 評

・記録者 増田 誠也

第1セット序盤、硬さが見られる星稜に対し金沢商業がセンター瀬戸の攻撃を中心に7-4とリードを奪う。星稜もライト大久保、レフト藤多のスパイクで得点を重ねるが、中盤金沢商業は瀬戸のブロックから一気に6連続ポイントを奪う。流れを変えようと掛場、今川をピンチサーバーとして投入するが最後は金沢商業、エース田中の高さあるスパイクが決まり25-17で第1セットを先取する。

第2セット、金沢商業は第1セット先取の勢いそのまま序盤から12-5とリード。星稜もエース藤多、角出で巻き返しを図るが、金沢商業の高いブロックとリベロ谷の固いレシーブにより勢いを止めることが出来ず25-8で王手を掛ける。

第3セット、後がない星稜は攻めのサーブとセンター邦本のスパイクで序盤11-9と粘りを見せる。しかし、佃、寺坂、松永が次々とスパイクを決め17-12とリードを広げる。星稜のリベロ岡田を中心とした粘りのあるレシーブで食い下がるが、金沢商業は寺坂のジャンプサーブからさらに波に乗る。最後はキャプテン田中のスパイクがクロスに突き刺さり、金沢商業は13年連続で全国大会出場を果たした。